

2021 年度 個人研究実績・成果報告書

2022 年 4 月 15 日

所属	人間社会学部	職名	教授	氏名	和田義人
研究課題	地域共生社会構築に必要なネットワーク ～実践的地域包括ケアシステム、ユニバーサル就労に向けたサポートネットワークの構築～				
研究キーワード	地域共生社会、多様性、農 福連携、地域包括ケア、地 域ネットワーク	当年度計画に対す る達成度		3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を 達成したが、一部に遅れ等が発生した	
関連する SDGs項目	1. 貧困をなくそう	3. すべての人に健康と 福祉を	8. 働きがいも経済成長 も	11. 住み続けられるまち づくりを	

1. 研究成果の概要

- ・2022,2,5 いちかわ市民アカデミー講座での講義

千葉商科大学コース第6回 講座名：「2040年の“まちづくり”に向けた地域包括ケアシステムの深化」

《講義内容》 地域共生社会実現に向けて全国で実施されている先駆的事例を紹介しながら、地元市川市における事例として『市川市支え合いマッチングシステム』を取り上げ、今後の展望と課題を議論した。

- ・2021 年度文部科学省委託事業「専修学校における先端技術利活用実証研究」（事業期間 2021,6～2023,3）において、情報ネットワーク構築と情報共有の重要性を地域包括ケアシステムの視点から外部評価委員として総評を行った。

2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

【論文（査読あり）】

【著書・論文（査読なし）】

【学会発表等】

3. 主な経費

地域包括ケアマネジメントの実践的な概念構築、地域共生社会実現に向けた課題抽出の為、学会やセミナー、各地域で開催されるオンラインケア会議、家族会等に参加しながら、先駆的な取組み事例をピックアップした。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

- ・浦安市障害者自立支援協議会 計画策定委員、地域生活支援部会委員、
- ・文部科学省委託事業「専修学校における先端技術利活用実証研究」外部評価委員

（本文は2ページ以内にまとめること）